



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和7年3月吉日発行 第12号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

18名が母校を巣立つ。

3月4日、第78回卒業証書授与式を挙行政いたしました。卒業記念合唱「あなたへー旅立ちに寄せるメッセージ」（筒井雅子作詞・作曲）を歌い上げ、18名の卒業生が卒業証書を手に、母校を巣立っていきました。保護者の皆様にお祝いを、地域の皆様に御礼を申し上げると共に、これからの活躍を大いに期待しております。

「式 辞」（抜粋）

卒業にあたり、私の好きな言葉を贈りたい。剣豪宮本武蔵の「我、事に於いて後悔せず」という言葉である。これは、自分は正しく生きてきたから後悔なんかしたことがないよ、という意味ではない。失敗したと思ったら、後悔しないで、次に活かすんだよ、という意味である。皆さんもいろいろなことに挑戦して、たくさんの成功を収めてきた。でも、その中には失敗もあったと思う。なぜ、失敗したのか。どうしたらよかったか。どうやったら次に活かせるかを考えて欲しい。失敗が悪いわけではない。むしろ、失敗して良かったと思えるほどに振り返り、次に活かしてもらいたい。

「少しくらい寂しくても、思い出が暖めてくれるさ」は、人気マンガ「ドラえもん」の主人公のび太との結婚前夜、ヒロインの静香に父親が言った台詞である。これまでのようにこの仲間たちと過ごすことはもうないが、思い出が寂しさを埋めてくれることだろう。

「これまでどんな失敗をしてきましたか。」

「その失敗をどう振り返り、どう生かしていきたいですか。」



【3年生作の雪だるま】

「送 辞」（在校生代表／抜粋）

今年の生徒会スローガン「大志～挑戦する姿は何よりも美しい～」の言葉どおり、川東中学校を活気づけるため、常に新たなことに挑戦し続け、私たちを引っ張ってくださいました。（中略）

皆さんはどんなときにも私たちの憧れで目標となる存在でした。どんな時でも私たちの味方となり、助けてくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

「答 辞」（卒業生代表／抜粋）

中学校最後のすべての行事には、もてる力のすべてを出し尽くし18人で感動を分かち合うことができ、一生忘れることのない最高の思い出にすることができました。

（中略）その一つ一つが大きく私たちを成長させてくれました。

別れはとても寂しく切ないですが、未来へ向かって夢を叶えるために、これからも笑顔で突き進んでいくことを誓います。

ネットも、リアルも。

2月3日（月）の全校朝会で、自身の例を紹介しながら、リアルな体験の大切さについて話しました。また、リアル、の楽しみを少しでも実感してもらおうと校長室前にはミニパズルや折り紙を設置しています。これからの時代は「ネット」を駆使することももちろん大切ですが、「リアル」な体験を同様に大切にしたいと願っています。

「リアルな体験」を地域の方と。

地域にお住まいの皆さんとの交流、並びにリアルな体験の機会を確保すべく、様々な活動を模索しています。たくさんの方から助力を得て、次年度から本格的なスタートを予定しています。試験的に実施した活動をご紹介します。



セラピー犬がやってきた。

リアルな体験の重要性を踏まえ、地域の協力者の助力を得て、先日、セラピー犬ゴンザレスが来校し、希望生徒と触れ合いました。ゴンザレスはセラピー犬として訓練を受けた犬であるため、不用意に吠えたり、噛んだりはしません。予想を上回る23名が参加し、癒やしの一時を過ごせたようです。

【次回の来校は3月18日（火）】の予定です。

凧あげ、したことある？

数人の生徒に尋ねてみましたが、凧あげ経験者は比較的少ないことが判明しました。そこで、凧あげ体験を計画しています。ただ、凧あげに適した風が吹き、晴れた日となると実施日は限られてしまいます。今月号が発行されるまでに実施できれば良いな、と考えています。

凧あげ名人がいらっしゃいましたらお声がけください。（下記参照）



求む、凧職人！

三角柱状の骨組みを我が家から持参しました。亡き父の話によれば、「凧」とのこと。時代劇に出てくる行灯（あんどん）に似ていることから「行灯凧」と呼ぶようです。

いつか飛ばしてみたいと願っています。どなたか詳しい方がいらしたらご一報ください。

担当 校長 佐藤 昌樹 電話020-43-3577(川東中学校教務室)



かつての学校犬「黒子」、逝く。

かつて当校で生徒の心を癒やした学校犬「黒子」が9月5日に他界した、との報を先日受けました。黒子は市長から特別住民票を交付していただいて、平成24年に着任し、28年に引退しました。その後は市内某所で生活していました。合掌。